

WIDEX **MAGNIFY™**

取扱説明書

WIDEX MAGNIFY™ 補聴器

M-XP モデル
ITE
(耳あな型補聴器)



WIDEX®
HIGH DEFINITION HEARING

お客様の補聴器

(販売店で記入します)

ペント： ショート ロング なし

これは、お使いの補聴器でお使いいただけるプログラムのリストです。各プログラムの使用に関する詳細は、「カスタマイズ」をご確認ください。

補聴器のプログラム：

プログラム	オーディビリティエクステンダー
<input type="checkbox"/> 万能	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 静寂	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 快適	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 交通機関	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 都会	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> メリハリ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> パーティ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> グループ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ミュージック	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> T (テレコイル)	<input type="checkbox"/>

プログラム	オーディビリティエクステンダー
<input type="checkbox"/> M+T (マイクとテレコイル)	<input type="checkbox"/>
特別プログラム	オーディビリティエクステンダー
<input type="checkbox"/> ゼン	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 電話	<input type="checkbox"/>
スマートトグルプログラム	オーディビリティエクステンダー
<input type="checkbox"/> ゼン+	<input type="checkbox"/>

表に記載されているプログラム名は既定のもので、利用できる他の名前を使用する場合は、表に新しい名前を記入してください。これにより、補聴器でご利用可能なプログラムがいつでも分かります。

付記

補聴器の使用を開始する前に、本書をよくお読みください。

音声転送&ワイヤレスコントロール

この補聴器は、スマートフォンおよびその他の機器から DEX 経由で音声転送できるだけでなく、直接ワイヤレスコントロールできます。詳細については、販売店にお問い合わせになるか、ウェブサイトをご覧ください：
<https://global.widex.com>。

この補聴器は、TONELINK アプリからワイヤレスで操作できます。他社製のアプリで補聴器をご使用になる場合、または TONELINK アプリを他の機器でご使用になる場合、当社は一切責任を負いません。

目次

安全に関する重要な情報.....	7
お客様の補聴器.....	9
はじめに.....	9
各部の名称.....	9
使用条件.....	11
ご使用にあたって.....	11
用途.....	11
動作条件.....	12
保管条件&輸送条件.....	12
使用方法.....	14
補聴器電源のオン/オフ.....	14
補聴器の装着と取り外し.....	15
電池.....	16
電池電圧低下のお知らせ.....	16
電池の交換.....	17
カスタマイズ.....	18
プログラム.....	18
ゼンプログラム.....	20
プログラムの変更.....	21
お知らせ音.....	21

通信相手未検出時の警告	21
音の調節.....	22
お使いの補聴器とスマートフォンのペアリング.....	24
お手入れ.....	25
用具.....	25
補聴器のお手入れ方法.....	25
ワックスガード.....	28
付属品.....	31
故障と思われるときの対処方法.....	32
規制情報.....	35
FCC/ISED ステートメント.....	35
EU 指令.....	38
指令 2014/53/EU.....	38
廃棄に関する情報.....	39
記号.....	40

安全に関する重要な情報

補聴器の使用を開始する前にこれらのページをよくお読みください。



補聴器および電池を口に入れることや、不適切な使用をすることは非常に危険です。重大な怪我や、思わぬ事故につながりかねません。飲み込んでしまった場合は、すぐに119番通報するか、または病院に連絡してください。



お使いにならない時は補聴器を取り外してください。取り外しておくことにより、外耳道が換気され、耳の感染症の防止につながります。



耳の感染症やアレルギー反応が疑われる場合は直ちに、医師または販売店にご相談ください。



補聴器に不快感を感じたり、耳に合わないなどで耳の皮膚が赤くなるなどの異常を感じる場合は、販売店にご相談ください。



シャワー、水泳、ヘアドライヤーを使う前には補聴器を取り外してください。




香水、スプレー、ジェル、ローション、クリームを付ける場合は、補聴器を装用しないでください。





電子レンジで補聴器を乾かささないでください。補聴器が破損します。





お客様の聴覚が損傷する恐れがあるため、絶対に他人の補聴器を使用しないでください。また、ご自分の補聴器を他人に使用させないでください。


 鉱山などの爆発性ガスが存在する可能性がある環境では補聴器を絶対に使用しないでください。


 **補聴器、その部品、付属品および電池はお子様や知的障害のある方の手の届かないところに保管してください。**

 自分自身で補聴器を分解したり、修理したりしないでください。補聴器の修理が必要な場合は、販売店にご相談ください。

 補聴器には無線通信技術が搭載されています。補聴器を使用している間は、常に周囲の環境に注意してください。何らかの制限が適用される場合には、それらを順守するように注意を払ってください。

 お使いの補聴器は、電磁両立性に関する国際規格に適合するように設計されています。しかし、他の電気機器に電磁的な干渉を与える可能性は除外できません。電磁的な干渉が生じた場合には、他の電気機器から離してください。

 補聴器を極度の高温または高湿度にさらさないでください。また濡れたり汗を多くかいた場合は直ちに乾燥させてください。

 CT や MRI などの検査を受ける際には、事前に補聴器を外してください。補聴器から大きな音が生じたり、補聴器を破損することがあります。IH 調理器など電磁波を発生する機器の影響で、雑音や歪みを生じることがあります。

お客様の補聴器

はじめに

新しい補聴器をご購入いただき有難うございます。

慣れるまでに少し時間がかかるかもしれませんが、補聴器を継続的にお使いください。使用する時間を増やしていくことで、より補聴器の効果を実感されるでしょう。

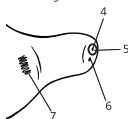
付記

この取扱説明書に掲載されている補聴器、イヤセット、付属品の図は、お客様のものとは異なる場合があります。また必要が生じた場合、弊社はこの取扱説明書の記載内容を変更する場合があります。

各部の名称



- 1.マイク入音口
- 2.電池ホルダー（オン/オフ機能）
- 3.爪グリップ



- 4.音口部
- 5.ワックスガード
- 6.ベント（オプション）
- 7.左右識別マーク

左右識別マークの色で左右を見分けることができます。左耳の補聴器には青いマークが付いています。右耳の補聴器には赤いマークが付いています。

使用条件

ご使用にあたって

この補聴器は、聴力障害の重症度が最低（10 dB HL）から高度（90 dB HL）の範囲にある生後 36 ヶ月以上の個人およびあらゆる難聴を対象とした機器です。

これらは、聴力リハビリテーション施設において訓練を受けた資格を持つ聴覚専門医（オーディオロジスト、補聴器専門家、耳鼻咽喉科医）により処方される必要があります。

用途

補聴器は、日常の受聴環境で使用される気導増幅装置としての使用を意図しています。補聴器には、静寂な環境において背景音を聴くことを楽しみたい方に、リラックス作用のある背景音（音楽/ノイズ源）を提供することを目的としたゼンプログラムが備わっている場合があります。

動作条件

本補聴器は、日常生活での使用を意図しており、通常の生活環境で機能します。機内での使用は可能ですが、入浴時（シャワーを含む）や水泳を行う場合は必ず外してください。

この補聴器の動作条件は以下の通りです。

	最低	最高
温度	0° C (32° F)	50° C (122° F)
湿度	相対湿度 10%	相対湿度 95%
気圧	750 hPa	1060 hPa

保管条件&輸送条件

この補聴器は、高温など過酷な条件の影響を受けやすい製品です。必ず直射日光の当たらない、以下の条件を満たした場所でのみ保管、輸送してください。

指定の保管条件と輸送条件：

	最低	最高
温度	-20° C (-4° F)	55° C (131° F)

	最低	最高
湿度	相対湿度 10%	相対湿度 95%

補聴器の技術データシートと追加情報は、<https://global.widex.com> にアクセスしてご確認ください。

使用方法

補聴器電源のオン/オフ



電池を挿入して電池ホルダーを閉じて上へ押し上げると、補聴器の電源が入ります。電源が入ったことを知らせるお知らせ音が補聴器から聞こえます。(販売店がこの機能を無効に設定している場合を除く。)



電池ホルダーを押し下げると、電源は切れます。

付記

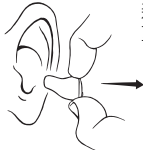
補聴器を手で覆って補聴器の電源が入っていることを確認することもできます。ハウリング音が聞こえる場合には補聴器の電源が入っています。補聴器を使用しない時は、必ず電源を切ってください。

補聴器の装着と取り外し



電池ホルダーを完全に閉じます。親指と人差し指で補聴器をしっかり持ち、抵抗を感じるまで耳にゆっくりと挿入します。耳の中で安定するまで、補聴器を人差し指の先で静かに押し込みます。挿入時に外耳を後方、上方方向に引っ張ると装着しやすくなります。

補聴器の取り外し



親指と人差し指で補聴器をしっかり持ち、慎重に引き出します。

付記

取り出しにくい時は、慎重に補聴器を左右に動かして引き出してください。

電池

お客様の補聴器には、**空気電池 PR41 (312 タイプ)** をご利用ください。

必ず、販売店から推奨される種類の新しい電池をお使いください。

付記

電池に汚れや残留物が全くないことを確認してから補聴器に挿入してください。そうでない場合、補聴器は意図された通りに機能しない場合があります。



空気亜鉛電池は爆発する可能性があるため、再充電しないでください。



消耗した電池を補聴器に入れたまま保管しないでください。電池が漏れ、補聴器の破損の原因になる恐れがあります。



使用済み電池は、パッケージに記載の指示に従って廃棄し、有効期限を控えておいてください。

電池電圧低下のお知らせ

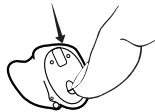
電池残量が少なくなってくると、補聴器はお知らせ音で知らせます。また、電池が突然に消耗した場合、お知らせ音を発しないことがあります。このお知らせ音が鳴ってから補聴器がどのくらい使用できるかは個々に異なりますので、常に予備の電池を持ち歩くことをお勧めします。

電池の交換

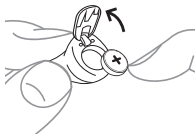
電池を交換するには以下の手順に従ってください：



新しい電池のシールを取り外し、粘着性の残留物が残っていないことを確認します。約 60 秒間「通気」させます。



爪グリップを使って電池ホルダーを下に押し、開きます。



次に、電池ホルダーに電池を入れます。電池ホルダーを閉じます。ホルダーが閉まりにくい場合、電池が正しく挿入されていません。補聴器を数日間ご利用にならない場合は、電池を取り外してください。

付記

補聴器を落とさないでください。電池を交換する際には補聴器を柔らかい表面の上に置いて行ってください。

カスタマイズ プログラム

この表には、選択できる各プログラムの概要がまとめられています。詳細については販売店にお尋ねください。

プログラム	用途
万能	日常用プログラム
静寂	静かな環境で聞くための特別プログラム
快適	騒音がある環境で聞くための特別プログラム
交通機関	車、列車などの騒音がある状況で聞くためのプログラム
メリハリ	クリアで鮮明な音をお好みの場合のプログラム
都会	音声レベルが変化する環境用のプログラム（スーパーマーケット、騒がしい職場など）
パーティ	多くの人が同時に話す環境用のプログラム

プログラム	用途
グループ	家族とのディナーなど、小規模の人の集まる場のためのプログラム
ミュージック	音楽を聴くためのプログラム
T (テレコイル)	このプログラムでは、補聴器のテレコイルを通して聞くため、周囲の騒音なしに必要な音声を直接聞くことができます (テレループのシステムが必要です)
M+T (マイクとテレコイル)	補聴器のマイクとテレコイルを組み合わせています。音源だけでなく、他の音声も聞くことができます

特別プログラム	用途
ゼン	ストレス軽減を目的とした機能。チャイムや鐘の音を奏でます
電話	通話に最適なプログラム
スマートトグルプログラム	用途
ゼン+	このプログラムはゼンと似ていますが、様々なタイプのトーンやノイズが用意されています

付記

リストにあるプログラム名は既定のものです。販売店では、あらかじめ選択されたリストにあるプログラム名を選択することもできます。この機能では、それぞれの状況に合ったプログラムをより簡単に選択できます。

お客様の聴力に応じ、販売店がオーディビリティエクステンダーの機能を有効にします。この機能でメリットが得られるかどうかについては販売店にお尋ねください。

後にお客様の必要性やお好みが変わった際、販売店はプログラムの選択を簡単に変更することができます。

ゼンプログラム

補聴器には、ゼンと呼ばれるユニークなオプションのプログラムが搭載されている場合があります。これは、背景に楽音（時には激しいノイズ）を作り出します。



音の大きさの減少、許容範囲外の音、音声は明確ではない、または耳鳴りの悪化を感じた場合は、販売店にご相談ください。



ゼンプログラムを使用すると、会話などを含む通常の音声は妨げられることがあります。これらの音声を聞くことが重要な場合は、このプログラムは使用しないでください。このような状況では、補聴器をゼン以外のプログラムに切り替えてください。

プログラムの変更

プログラムを切り替えるには、リモコンのプログラムボタンを押します。

ゼン+

このプログラムにアクセスするには、プログラムボタンを1秒以上長押しします。プログラムボタンを短く押すと、設定されているゼンスタイルに順番に切り替わります。プログラムを終了するには、プログラムボタンを1秒以上長押しします。

付記

プログラムの変更や補聴器の音質設定には、お手持ちのアプリを使用することもできます。

お知らせ音

特定の機能が有効になった場合、またはプログラムを変更した場合には、補聴器が音でお知らせします。これらの音は言葉によるメッセージまたはトーン（機械音）になります。

これらが不要な場合には、音をオフに切り替えるよう販売店に依頼してください。

通信相手未検出時の警告

(特定モデルでのみ使用可能)

販売店は、片方の耳の補聴器に接続されない場合、補聴器が警告を発する機能をオンにすることができます。言葉によるメッセージが聞こえます。

音の調節

補聴器は、周囲の音の環境に応じて出力音を自動的に調整します。

リモコンをお使いの場合、お客様の必要性やお好みに応じて快適に聞こえるよう、あるいはより聞き取りやすくするよう、手動で調節できます。この機能の詳細については、販売店にご相談ください。

補聴器の設定と機能に応じ、音の設定は両側の補聴器に適用されます。

販売店がこの機能を無効にしていない限り、リモコンの音量ボタンを操作する度に、お知らせ音が聞こえます。音量が最大または最小に達すると連続音が聞こえます。

補聴器の消音設定：

- 長音が聞こえるまでリモコンの音量ボタンの下側を押します

再度音を出すには、

- ボリュームボタンの上部を押します、または
- プログラムの変更

補聴器の電源を切るか、プログラムを変更すると、音量は元に戻ります。

付記

プログラムの変更や補聴器の音質設定には、お手持ちのアプリを使用することもできます。

お使いの補聴器とスマートフォンのペアリング

補聴器とスマートフォンをペアリングするには、補聴器を再起動する必要があります。以下の手順を実施してください。

1. 電池ホルダーを開閉して補聴器をオンにします。
2. 補聴器をスマートフォンの近くに置き、お使いの電話の指示に従ってください。
3. 補聴器とスマートフォンの使用の準備ができました。

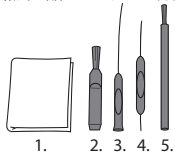
付記

補聴器は、電源がオンになってから3分間ペアリングモードになります。この時間中にペアリングできなかった場合、再起動が必要になります。

お手入れ

用具

補聴器には次の清掃用具が同梱されています。



1. クリーニングクロス
2. ブラシ
3. 耳垢除去用具（長）
4. 耳垢除去用具（短）
5. 電池取り出し用磁石

補聴器のお手入れ方法

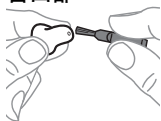
補聴器の性能を維持するために、耳垢や汚れを取り除いて常にきれいな状態にしてください。

補聴器



やわらかい布で拭いてください（販売店から提供されたクリーニングクロスなど）。

音口部



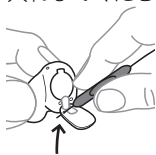
小さいブラシまたはクリーニングクロスを使い、音口部の**周り**にある目に見える耳垢を除去してください。ワックスガードは**絶対**にお手入れしないでください。

付記

音口部のお手入れが難しい場合は、販売店にご相談ください。音口部には**絶対**に物を挿入しないでください。音口部に物を挿入すると補聴器が破損する場合があります。

マイク入音口

次の手順にしたがって、補聴器前面のマイク入音口をお手入れしてください。



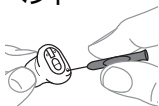
電池ホルダーを開き、電池ホルダーが下向きになるように補聴器をひっくり返します（図を参照）。

短い耳垢除去用具（4番）を、電池ホルダーのマイクの入音口に内側から差しこみ、汚れを押し出します（図を参照）。

付記

耳垢や汚れが補聴器内のマイクに入っている恐れがある場合には販売店にご相談ください。マイクには何も**挿入しないで**ください。

ベント



長い耳垢除去用具（3番）をベントの一番奥まで通し、毎日お手入れしてください。



補聴器を使用しない時は、補聴器を開けたままにして通気してください。

付記

補聴器の性能を維持するためには、常にベントを耳垢や汚れなどが無いきれいな状態に保つことが重要です。毎日使用後にお手入れし、ベントが詰まった場合は販売店に相談してください。

補聴器が濡れたり、汗を多くかいたりした場合は、補聴器を直ちに乾燥させてください。補聴器を常に乾燥させ清潔に保つために、ワイデックス PerfectDry Lux などの専用の乾燥機を使用することもできます。詳しくは、販売店にご相談ください。



補聴器のお手入れに液体や殺菌剤を使用しないでください。



毎日使用後に補聴器をお手入れし、破損していないことを確認してください。補聴器が装着中に破損し、外耳道に小さい破片が残った場合には医師にご相談ください。決して破片をご自身で取り出さないでください。

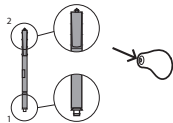
ワックスガード

ワックスガードは、耳垢や汚れの侵入を防ぎ、補聴器を保護するための部品です。必ずワイデックス指定のワックスガードを使用してください。

ワックスガードの交換

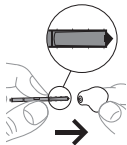


図のように、ケースを開きます。

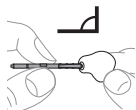


ワックスガードは以下の部品で構成されています：

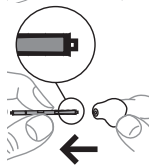
1. 新しいワックスガード
2. 取り外しフック



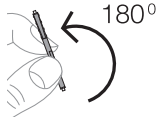
取り外しフックを使用済みのワックスガードに挿入します。



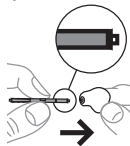
図のように、ホルダーを直角に保ちます。

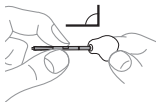


そのまま真っすぐ使用済みワックスガードを引き抜きます。



音口の開口部に新しいワックスガードを挿入し、そっと押し付けます。








ホルダーをまっすぐ引き抜きます。



ワックスガードの交換頻度については、販売店にご相談ください。

 ワックスガードは使い捨てで、清掃して再使用することはできません。

 ワックスガードの取付けがゆるい場合は、それを破棄して新しいワックスガードを使用してください。

 ワックスガードが補聴器の使用中に耳の内側で外れた場合は、取り除くために医師または販売店にご相談ください。ご自分でワックスガードを取り除こうとしないでください。

付属品

別売りの補聴援助用のアクセサリーを使用できません。各種アクセサリーを使用してメリットが得られるかどうかについては販売店にお尋ねください。

名称	用途
RC-DEX	リモコン
TV-DEX	テレビおよびオーディオの受聴用
PHONE-DEX 2*	シンプルな固定電話用（日本国内未対応）
FM+DEX	FM受信機および外部音響機器から補聴器への音声ストリーミング用
T-DEX	テレコイルを使って補聴器を携帯電話に接続するために使用します（未発売）
COM-DEX	Bluetooth経由でのスマートフォンや他の機器との無線接続用
COM-DEX Remote Mic	騒音のある環境での話し声の聞き取りを支援します

* 一部の国でのみ利用可能です。

故障と思われるときの対処方法

補聴器が作動しなくなった、または期待通りに機能しない場合は、このページに記載のアドバイスを参照してください。問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。

問題	考えられる原因	解決策
補聴器から音が聞こえない	補聴器の電源が入っていない	電池が正しく挿入され、電池ホルダーがしっかり閉じていることを確認します。
	電池の消耗または電池不良	新しい電池を入れて試してください
	音口部が詰まっている	お手入れの項を参照してください
補聴器の音が小さく感じる	マイクの入音口が詰まっている	お手入れの項を参照してください
	音口部が詰まっている	お手入れの項を参照してください
	外耳道に耳垢が詰まっている	医師にご相談ください
	聴力が変化した	販売店/医師にご相談ください

問題	考えられる原因	解決策
ピーツというハウリング音が常に聞こえる	外耳道に耳垢が詰まっている	医師にご相談ください
	補聴器が外耳道に正しく挿入されていない	一度取り外し、装着し直してください
	補聴器が緩い	販売店にご相談ください
補聴器の装用感がよくない	補聴器が外耳道に正しく挿入されていない。	販売店にご相談ください
	補聴器が耳の形に合っていない	販売店にご相談ください
	外耳または外耳道が痛い	初めて使用する場合、最初は補聴器を短時間のみ使用することが重要です。2～3週間かけて補聴器に徐々に慣れるようにしてください。問題が解決しない場合は聴覚専門医にご相談ください

問題	考えられる原因	解決策
補聴器が両耳同時に動作しない	補聴器間の通信が途絶えた	補聴器の電源を入れ直してください
音量調節やリスニングプログラムの切り替えをしても補聴器が反応しない	a.装置が通信圏外で使用されている b.近くに強い電磁干渉がある c.装置と補聴器がマッチングされていない	a.装置を補聴器に近づけてください b.電波干渉する機器から離れてください c.装置が補聴器と正しくマッチングされているか、販売店にご確認ください。
使用時に音が途切れる、または片方の補聴器からの音が聞こえない。	a.片方の補聴器の電池が消耗している b.近くに強い電磁干渉がある	a.片方、または両方の補聴器の電池を交換してください b.電波干渉する機器から離れてください

規制情報

FCC/ISED ステートメント

FCC ID : TTY-UXP

IC : 5676B-UXP

米国連邦通信委員会 (FCC) 適合宣言

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a

particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTE:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Changes or modifications to the equipment not expressly approved by Widex could void the user's authority to operate the equipment.

ISED 適合宣言 (Déclaration d'ISED)

This device contains licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- (2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

ISED RADIATION EXPOSURE STATEMENT:

This equipment complies with ISED RF radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

ISED EXPOSITION AUX RADIATIONS:

Cet équipement est conforme avec ISED les limites d'exposition aux rayonnements définies pour un contrôlé environnement. Cet émetteur ne doit pas être co-localisés ou fonctionner en conjonction avec une autre antenne ou émetteur.

EU 指令

指令 2014/53/EU

ここに、Widex A/S は、この M-XP が、指令 2014/53/EU の基本的要求事項および関連規定に準拠していることを宣言します。

M-XP には、補聴器からの距離 10m の場所において 10.6 MHz、-54 dB μ A/m で動作する無線送信機が搭載されています。

無線性能が低下する可能性を防ぐため、必ず補聴器を他の無線通信機器から 25cm (10 インチ) 以上離してください。

2014/53/EU に従う適合宣言書のコピーを以下に掲載します。

<https://global.widex.com/doc>



N26346

廃棄に関する情報

補聴器やアクセサリ、電池を通常のご家庭ごみと一緒に捨てないでください。

補聴器やアクセサリ、電池は、地区の定める電気・電化製品の処分方法に従って処分するか、購入元に安全な処分を依頼してください。

記号

医療機器の表示（ラベルや取扱説明書など）で Widex A/S に
よって共通して使用される記号

記号 タイトル/説明



製造元

製品は、名称および住所が記号の横に記載されたメーカー
により製造されています。該当する場合、製造年月も記載
される場合があります。



カタログ番号

製品のカタログ（品目）番号。



取扱説明書を参照

取扱説明書には安全に関する重要なお知らせ（警告/注
意）が記載されていますので、製品のご使用前に必ず
お読みください。



警告

警告記号を伴う事項は、製品のご使用前に必ずお読み
ください。



WEEE マーク

「一般廃棄物ではありません」製品の廃棄については、
危険物質による環境や人の健康を害するリスクを防ぐ
ため、指定されたリサイクル・回収場所に廃棄してく
ださい。

記号 **タイトル/説明**



CE マーク

製品は、CE マークに関する欧州指令によって定められた要件に適合しています。



RCM マーク

製品は、オーストラリアとニュージーランド市場に供給される製品に対する電気安全性、EMC、無線スペクトル規制要件に準拠しています。



技術基準適合証明マーク

この製品は日本の技術基準適合証明を受けたものです

ワイデックス株式会社
製造販売元 ワイデックス株式会社
〒131-0034 東京都墨田区堤通 1-19-9
リバーサイド隅田セントラルタワー
TEL 0120-332-604 FAX 0120-332-394
<http://japan.widex.com/>
許可番号 13B2X00020 管理医療機器



WIDEX A/S

Nymoellevej 6, DK-3540 Lyngø, Denmark
<https://global.widex.com>



取扱説明書番号:
9 514 0573 016 01
発行:
2020-12

